

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 5 年 11 月 1 日(2023.11.1)

【公開番号】特開 2023-5490(P2023-5490A)
 【公開日】令和 5 年 1 月 18 日(2023.1.18)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-010
 【出願番号】特願 2021-107450(P2021-107450)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055(2006.01)
 G 0 1 N 24/00(2006.01)
 G 0 1 R 33/42(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 5/055 3 3 1
 A 6 1 B 5/055 Z A A
 G 0 1 N 24/00 5 4 0 A
 G 0 1 R 33/42

【手続補正書】
 【提出日】令和 5 年 10 月 24 日(2023.10.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【請求項 1】

撮像空間を中心に対向して配置された一対の静磁場磁石と、前記撮像空間を中心に対向して配置される一対の傾斜磁場コイルと、を備え、
 前記静磁場磁石は円盤状磁性体磁極と円環状磁性体磁極とを有し、
 前記傾斜磁場コイルは、撮像領域において前記一対の静磁場磁石が対向する方向である Z 軸方向に傾斜した磁場を与える第 1 のコイルと、前記円盤状磁性体磁極に対し前記第 1 のコイルから発生した磁束を遮蔽する積層体を有し、
 前記積層体は、前記円環状磁性体磁極側で Z 軸方向厚が、前記撮像空間の中心部よりも薄く、
 前記積層体の前記円環状磁性体磁極側の積層体端部の鉛直方向最下部が、前記積層体の前記撮像領域側の積層体中央部の最下部よりも高い位置にある、
 ことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

40

【請求項 6】

撮像空間を中心に対向して配置された一対の静磁場磁石と、前記撮像空間を中心に対向して配置される一対の傾斜磁場コイルと、を備え、
 前記静磁場磁石は円盤状磁性体磁極と円環状磁性体磁極とを有し、前記傾斜磁場コイルは、撮像領域において前記一対の静磁場磁石が対向する方向である Z 軸方向に傾斜した磁場を与える第 1 のコイルと、前記円盤状磁性体磁極に対し前記第 1 のコイルから発生した磁束を遮蔽する積層体を有し、
 前記積層体は、前記円環状磁性体磁極側で Z 軸方向厚が、前記撮像空間の中心部よりも厚

50

く、

前記積層体の前記円環状磁性体磁極側の積層体端部の鉛直方向最下部が、前記積層体の中央部最下部よりも低い位置に配置される、
ことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

10

20

30

40

50